

衝撃～しょうげき～

Show Get-key

第62期 中間事業報告書 2008年4月1日から2008年9月30日まで

オートバックスセブン
株主通信

Vol. 25



TOPメッセージ————— 1

特集

オートバックスグループの
プライベートブランド商品
への取組み————— 3

ニュースリリース————— 5

オートバックスグループ
新店紹介————— 6

知ってトクするクルマネタ
冬本番
レジャーや局地的な大雪で
雪道を走ることによって
準備をしておきましょう—— 7

オートバックスグループ
商品紹介————— 9

財務報告————— 11

店舗情報————— 12

会社情報————— 13

株式情報————— 14

TOPメッセージ

2009年3月期第2四半期業績の結果と通期業績計画の修正について



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここにオートバックスセブン株主通信「Show Get-key」Vol.25をお届けします。

2009年3月期第2四半期(累計)の事業環境

当第2四半期累計連結会計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融不安の拡大で世界経済の成長が減速し、企業収益や設備投資の停滞感が鮮明になってきています。そうしたなか、雇用・所得環境はますます厳しさを増し、資源・食料品等の物価上昇が続いていることなどから、消費者の節約志向や生活防衛意識は徐々に高まっています。

カー用品販売業界は、記録的なガソリン高とそれに伴う節約志向の高まりを背景にした自動車需要減の影響を受け、非

常に厳しい市場環境となりました。カーナビゲーションをはじめとするカー用品の販売単価の下落、タイヤやオイルの交換サイクルの長期化など売上を圧迫する要因が強くなりました。また、都心部における自動車保有比率が減少し、地方における自動車の利用頻度が低下するなかで、自動車メーカー・ディーラーを中心とした企業が自動車用品やサービスの取扱いを強化するなど競争環境が激化しています。

2009年3月期第2四半期業績の結果

このような環境の下、当社グループの連結売上高は前年同期比0.2%減少の1,292億99百万円となりました。卸売部門では、タイヤ・ホイール、自動車、燃料などの売上が増加したものの、カーエレクトロニクス、カースポーツ用品、車外用品などの売上減少が上回り、前年同期比0.3%減少となりました。小売部門では国内店舗におけるカー用品売上が不調だったものの、車

検・整備を含むサービス売上や海外店舗における売上増加なども貢献し、前年同期比0.2%増加となりました。売上総利益は高粗利率である自動車用品の構成比が高い海外子会社で売上が増加したものの、国内におけるサービスや中古車販売の粗利率の低下により、前年同期比ほぼ横ばいの395億90百万円となりました。販売費及び一般管理費は、国内において管理費の削減に努めたものの、国内外における店舗数の増加や国内におけるタイヤ販売の広告宣伝費や昨年から導入を開始したPOSシステム関連費用が増加したことにより前年同期比6.8%増加の391億74百万円となりました。

これらの結果、営業利益は前年同期比86.3%減少の4億15百万円となりました。経常利益は、営業外費用として投資有価証券評価損を11億46百万円計上したことなどにより、前年同期比70.4%減少の14億23百万円となりました。四半期純利益はフランチャイジーに対する建物のリース取引に関わる会計基準の変更による特別利益46億51百万円や固定資産の減損による特別損失13億円を計上し、前年同期比16.9%減少の16億92百万円となりました。

2009年3月期通期業績計画の修正

通期の連結業績につきましては、消費者の生活防衛的な消費行動、自動車販売台数・保有台数の減少、若年層の自動車離れなど厳しい環境が続くものと予想され、連結売上高の計画を2,677億円に修正いたしました。営業利益につきましては、売上高の減少に伴う売上総利益の減少と主に国内における販売費及び一般管理費の増加により第2四半期までの利益減少を補うことができず、37億円と見込んでおります。経常利益につきましては、世界的な金融不安に起因する市場変動によ

決算ハイライト

単位:百万円

	第61期 第2四半期 (自2007年4月1日 至2007年9月30日)	第62期 第2四半期 (自2008年4月1日 至2008年9月30日)	増減率(%)	第61期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)
売上高	129,551	129,299	-0.2	266,429
卸売部門	70,277	70,071	-0.3	145,072
小売部門	57,160	57,257	0.2	117,182
その他	2,113	1,970	-6.8	4,174
経常利益	4,817	1,423	-70.4	6,062
四半期(当期)純利益	2,035	1,692	-16.9	1,467
1株当たり情報(円):				
四半期(当期)純利益	53.23	44.75	-15.9	38.37
配当金	30.00	50.00	66.7	100.00
純資産	4,385.05	4,286.40	-2.2	4,298.70
総資産	248,017	225,985	-8.9	234,126
純資産	168,497	161,348	-4.2	165,205

る為替などの影響も受け49億円に修正いたしました。当期純利益は、保有する投資有価証券の処分など特別損失の発生が見込まれることから5億円に修正いたしました。今後は短期的には品揃えの強化および販促施策など、国内フランチャイズチェーン事業の強化に努める一方、中期的には経営の効率化とコーポレートガバナンスの強化による企業価値向上を目標とした中期経営計画の推進に努めてまいります。

株主の皆様には今後ともご支援を賜りたくお願い申し上げます。

2008年11月

代表取締役 社長執行役員

湧田節夫

オートバックスグループの プライベートブランド商品への取組み

当社は1977年にカー用品業界初となるプライベートブランド(PB)のタイヤ、オイル、バッテリーを発売しました。グループ店舗にご来店いただいたお客様のさまざまな声をPB商品に反映させ、品質と価格の両面でお客様にご満足いただくことを目的とした取組みです。また、PB商品はメーカーと共同で企画を行い生産委託し、さまざまな中間コストが削減された商品のため、当社の収益性向上にも貢献します。

オートバックスグループの成長とともにPB商品のラインアップも年々増え、現在のアイテム数は約4,200点*。オートバックスグループ店舗の売上金額に占めるPB商品の割合は約15%(2008年3月末現在)となっています。皆様が当店で何気なく手にされた商品も思いのほかPB商品であったりするのではないのでしょうか。ここに主なPB商品を紹介합니다。

タイヤ

PBタイヤ「マックスラン」シリーズなどのラジアルタイヤ、「ノーストレック」シリーズなどのスタッドレスタイヤは、基本性能の高さを追求し「お客様に喜んでいただきたい」という基本コンセプトを基に約30年間、幾多にわたる改良を行ってまいりました。



マックスランエクセラEZ



ノーストレックN2

ホイール

PBホイール「リゼア」などのほか「Eフォース」などメーカーとの提携による専売モデルも多数取り揃えています。軽自動車用のホイールから大口径ホイールまで数々のラインアップでお客様からご好評をいただいています。



リゼアX7



Eフォースモノブロック

オイル、オイルフィルター

PBオイル「ヴァンテージ」は、粘度やベースオイルの種類(鉱物油や化学合成油)によってファミリーカー向け、スポーツカー向け、低燃費対応エンジン向けなどお客様のニーズ

*同じ商品群でもサイズ・形状などに違いがあり、このアイテム数は在庫管理している単位の商品数です。

に対応できる幅広いラインアップを提供しています。また、オイルフィルターもほぼすべての国産車をカバーしています。



ヴァンテージシリーズ

オイルフィルター

バッテリー

PBバッテリー「ダイナグリッド」は、経済的な基本性能重視のタイプから、過酷な環境でも性能を発揮する大容量タイプまで3種類42アイテムをラインアップしています。



ダイナグリッドシリーズ

消臭剤 カージョキン



エアコンフィルター



クッション類

PBクッション「エクスジェル」。話題の低反発素材を使ったクッションなどもラインアップしています。



エクスジェル バックスエイド

その他



タイヤラック



フロアジャッキ

今後のPB商品の展開

お客様の満足と企業の収益性を両立させるPB商品の開発は、近年スーパーマーケットやホームセンターなどでも盛んに行われています。こうしたなか、当社ではPB商品だけでなく、オートボックス専売モデルの販売や商品カテゴリー毎に限定したメーカーとのサプライチェーンマネジメントなど、より良い商品を選びやすく、リーズナブルな価格で提供するよう日々努めています。今後もオートボックスグループの商品展開にご期待ください。

ニュースリリース

7月

- M-1グランプリ2008へ本年で8度目の特別協賛
- こども向け職業・社会体験施設「キッズシア甲子園」の
出展について基本合意～自動車整備をテーマとした
パビリオンを予定～
- 平成21年3月期 第1四半期末の投資有価証券評価
損に関するお知らせ
- 「澳徳バクス 北京花郷店」オープン
- 「オートバックスそが店(千葉県千葉市)」新規オープン
- オートバックスグループ「車検」TVCM放送開始
～オートバックスイメージキャラクター「相武紗季」出演～

8月

- 主要株主の異動に関するお知らせ
- 投資有価証券売却損に関するお知らせ
- 「オートバックス環4泉(神奈川県横浜市)」新規オープン
- 「AUTOBACS UBI STORE」(シンガポール)オープン
- 車両販売及び買取に関するTVCMオンエア
～オートバックスグループスタッフを出演者に採用～
- 一部報道に関するお知らせ(当社グループ店舗における
メーカー等からの販売支援について)
- 『08' 秋モデル・パナソニック「ストラダ」先行予約
キャンペーン』『パナソニックNEWストラダ「ナビゲー
ション半額購入」モニターキャンペーン』実施
- オートバックスグループ専売アルミホイール
「DIOS SYNCHRON」(ディオス シンクロン)」

9月

- 「AUTOBACS SAINT MAXIMIN」(フランス)オープン
- Tポイントサービス開始時期の確定について
- 『車検予約で当たる!!キャンペーン』実施
～抽選で毎月100名様にQUOカードプレゼント～
- 「オートバックス西岡店(北海道札幌市)」移転新築オープン
- 子会社の解散及び清算に関するお知らせ
- プライベートブランドタイヤ誕生30周年記念
「12ヶ月連続タイヤでアタルキャンペーン」第3弾
- 『08' 秋モデル・カロッツェリア「楽ナビ」先行予約
キャンペーン』実施～オートバックス商品券3,000円分
もれなくプレゼント～

7 M-1グランプリ2008へ 本年で8度目の特別協賛

JUL

オートバックスM-1グランプリは、2001年の開催以来、若手漫才師が世に出るための登竜門として定着し、年末の一大お笑いイベントとして年々その人気は高まっています。昨年は全国各地の平均視聴率が20%超を記録し、過去最高の視聴率となりました。また、コンビ結成10年以内であればプロ・アマ問わず誰でも出場できることから、年々エントリー数が増加し、昨年は参加者数も過去最高となりました。

2008年度も8月30日の大阪を皮切りに、札幌、仙台、東京、名古屋、広島、福岡の地方会場まで1回戦を開催。その後、2回戦、3回戦、準決勝、そして年末の決勝戦まで熱い戦いが全国各地で繰り広げられます。当社は、お客様第一主義を基本理念としており、「笑い」を提供することで、お客様に喜んでいただき、笑顔になっていただけるよう努めております。その一環として、「笑い」を全国的に広めるために若手漫才師に活躍の場を提供するM-1グランプリへの特別協賛を8年間にわたり継続的に行っております。

オートバックスM-1グランプリWebサイトはこちら
<http://www.m-1gp.com>



9 『車検予約で当たる!! キャンペーン』実施

抽選で毎月100名様にQUOカード
プレゼント

2008年10月1日(水)～2009年3月31日(火)までの6ヵ月間、『車検予約で当たる!!キャンペーン』を全国のオートバックス、スーパーオートバックス、オートハローズ店舗で実施します。

同キャンペーンは、キャンペーン実施期間中に対象店舗にて車検の予約もしくは車検を実施していただいたオートバックスの会員のお客様の中で、専用の応募はがきにてご応募いただいた方に対し、毎月抽選で100名様に5,000円分のQUOカードをプレゼントするものです。なお、現在オートバックスの会員でないお客様も、事前に会員登録(無料)することでキャンペーンに参加いただけます。

当グループにおける車検では、実施前に無料で見積もりを行い、作業内容及び車検にかかる費用をお伝えしています。また、各種消耗品などの交換の際には、純正部品への交換はもちろん、店内に品揃えている豊富なカー用品の中から、お客様のおクルマの使用状況にあわせた部品や、日頃の不満を解消するような部品に交換することも可能です。



9 子会社の解散 及び清算に 関するお知らせ

SEP

当社は、2008年9月25日に当社の子会社である株式会社カーライフ総合研究所と株式会社オートバックスSDの2社を解散及び清算することを決定しました。

この子会社2社の解散及び清算は中期経営計画における「本部機能/コストの効率化」を目的として実施したもので、株式会社カーライフ総合研究所のオートバックスフランチャイズチェーン加盟店に対する人材教育機能及び店舗出店マーケティング機能並びに株式会社オートバックスSDが担っていた総務代行機能など両社の業務を当社に移管し、2社を清算いたします。これによりフランチャイズ本部としての更なる機能強化と、中長期的な連結グループコストの効率化を図ります。

オートバックスグループ新店紹介

オートバックス そが店



「オートバックスそが店」
新規オープン 2008年7月26日(土)

〒260-0835 千葉県千葉市中央区川崎町1-34
TEL: 043-262-0711

オートバックス 環4泉



「オートバックス環4泉」
新規オープン 2008年8月29日(金)

〒245-0018 神奈川県横浜市泉区上飯田町2100番の1
TEL: 045-800-6670

オートバックス 西岡店



「オートバックス西岡店」
移転新築オープン 2008年10月1日(水)

〒062-0031 北海道札幌市豊平区西岡1条3丁目2番1号
TEL: 011-854-2241

店舗情報はこちら



<http://www.autobacs.com>

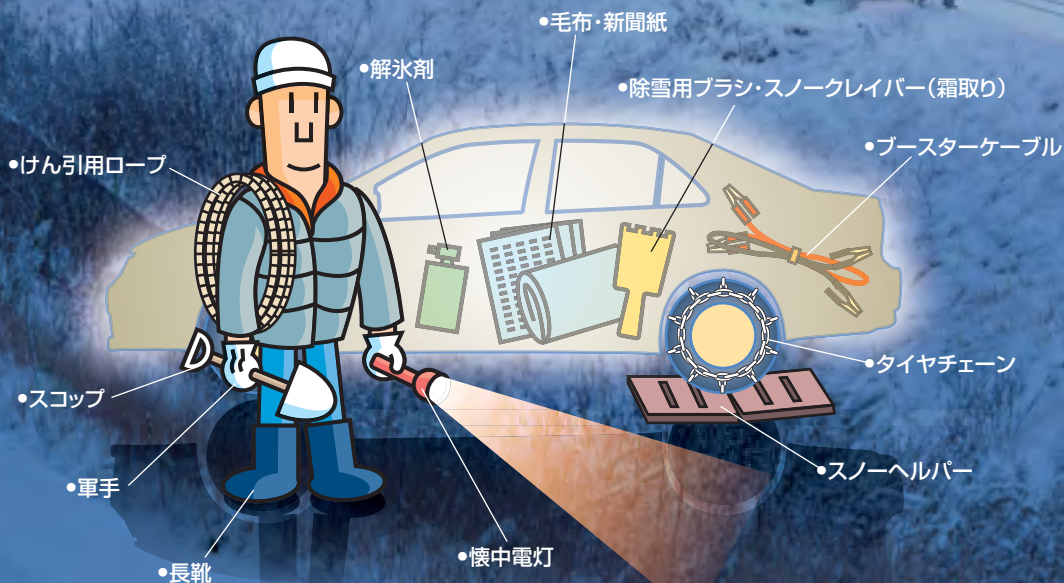
トップページより店舗検索ボタンをクリックし店舗を検索してください

冬本番。レジャーや局地的な大雪で雪道を

Point 1

持ち物チェック

冬の運転には天候の急変などによるさまざまなアクシデントにも十分対応できるような装備品を携行しておきましょう。



Point 2

クルマの整備・点検を

出発前は普段怠りがちな車の点検をしておきましょう。スタッドレスタイヤの溝の深さ・空気圧、バッテリーが弱っていないか、ワイパーの拭き取り具合、ルーフキャリアはしっかりと固定されているか、などをチェックしておくとう安心です。オートバックスでは無料の点検サービス※を行っています。

出発前は普段怠りがちな車の点検をしておきましょう。スタッドレスタイヤの溝の深さ・空気圧、バッテリーが弱っていないか、ワイパーの拭き取り具合、ルーフキャリアは

Point 3

雪道走行では過信は禁物

スタッドレスタイヤ装着車や4WD車でも性能を過信せずにスピードは控えめに。また、ハンドル操作に余裕を持ち、ブレーキも早めにゆっくりと踏みましょう。特に橋の上、トンネル内など道路が凍結しやすい場所では慎重な運転が必要です。

また、雪がヘッドライトやテールランプにかかって見えなくなっていないですか？ 休憩時にチェックしましょう。

スタッドレスタイヤ装着車や4WD車でも性能を過信せずにスピードは控えめに。また、ハンドル操作に余裕を持ち、ブレーキも早めにゆっくりと踏みましょう。特に橋の上、

走ることに備えて、準備をしておきましょう。

Point 4

駐車時の注意

寒冷地ではパーキングブレーキが凍ってしまうことがありますので、パーキングブレーキはかけないようにしましょう。オートマチック車はセレクターレバーを「P」に、マニュアル車はシフトレバーを「1」または「R」にし、更に輪止めをすると安心です。氷点下になるとワイパーが凍ってしまったり、雪の重みで動かなくなることがあるためワイパーを立てておきましょう。また、運転前に車内を暖めておくためにはエンジンスターターが便利です。

寒冷地ではパーキングブレーキが凍ってしまうことがありますので、パーキングブレーキはかけないようにしましょう。オートマチック車はセレクターレバーを「P」に、マニ

Point 5

雪の中をドライブした後は洗車をしましょう

雪道の凍結防止剤の付着はサビの原因になるので、カーシャンプーなどを使って丁寧に洗い流すようにしましょう。

※マイカー無料点検サービス… エンジンオイル、バッテリー、タイヤ、ライト類、ワイパーブレード、ファンベルト、ブレーキオイルの点検などのサービス

オートバックスグループ商品紹介

このコーナーではオートバックスグループの主力商品の最新情報をお伝えしていきます。

今号では冬のドライブに役立つカー用品をご紹介します。

雪道の走行といったらコレ!

スタッドレスタイヤ

雪道の強い味方といえばスタッドレスタイヤ。雪をつかんでしっかり走る技術は年々進化しており、冬のドライブには欠かせないアイテムです。



ノーストレックN2
(当社PB商品)



タイヤチェーン

最近のタイヤチェーンはワンタッチで着脱可能です。急な降雪に備えて常備しましょう。



PEWAG Inc.
スーパーアイスグリップ



フロントガラスの視界を確保!

解氷剤

凍ったフロントガラスにお湯をかけるのは、ガラスに急激な温度変化をもたらすため危険です。解氷剤を使えば、噴きかけるだけで氷を取り除けます。



呉工業(株) アイス・オフ

車用霜とり

雪が降っていないくても、寒い朝にはフロントガラスに霜が張って、暖気で溶かすには時間がかかります。そんなときに霜とりがあれば、ガラスを傷つけずすぐに霜が取れます。



白元(株) アイスレザー

スノーブレード

通常のワイパーは、金具やゴムの隙間に雪が詰まって払拭性能が著しく低下します。降雪地では雪用ワイパーが必需品です。スノーブレードは、ゴムカバーで全体が覆われているので雪が入り込まず安全な視界を確保します。



STAFMAN グラファイトブレード
(当社PB商品)

寒冷地用ウォッシャー液

寒冷地でフロントガラスに汚れが付いたときにウォッシャー液を使おうとしても通常のものでは凍結している可能性があります。寒冷地用のウォッシャー液を使えば安心です。



(株)サンテック 寒冷地用ウインドウォッシャー液

財務報告

連結貸借対照表

単位:百万円	第61期 第2四半期 (2007年9月30日現在)	第62期 第2四半期 (2008年9月30日現在)	第61期 (2008年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	120,520	126,489	117,406
固定資産	127,496	99,496	116,719
有形固定資産	55,011	43,275	53,767
無形固定資産	16,049	15,561	16,425
投資その他の資産	56,436	40,660	46,526
資産合計	248,017	225,985	234,126
(負債の部)			
流動負債	52,634	41,338	43,570
固定負債	26,885	23,298	25,350
負債合計	79,520	64,636	68,921
(純資産の部)			
株主資本	166,936	161,727	165,217
評価・換算差額等	705	△1,219	△882
少数株主持分	855	841	869
純資産合計	168,497	161,348	165,205
負債純資産合計	248,017	225,985	234,126

POINT 1

資産の部

当第2四半期の総資産は前期末より81億41百万円減少しました。昨年度末と比較して、流動資産の増加要因は、有価証券などの減少があったものの、会計基準の変更によるリース投資資産の増加、子会社のローン事業の拡大による受取手形及び売掛金の増加があったことによるものです。固定資産は店舗の減損や投資有価証券の評価減・売却により減少しています。

POINT 2

負債の部

当第2四半期の負債は前期末より42億85百万円減少しました。未払金の減少などによる流動負債の減少が要因です。また、長期借入金の減少などにより固定負債が減少しました。

POINT

営業活動におけるキャッシュ・フローは主に、税金等調整前四半期純利益の計上51億76百万円、減価償却費の計上29億98百万円がありました一方で、リース会計基準の適用に伴う影響額の計上46億51百万円、たな卸資産の増加23億29百万円、法人税等の支払額20億61百万円等があり、21億74百万円の資金の支出となりました。

投資活動におけるキャッシュ・フローは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出37億24百万円がありました一方で、投資有価証券の売却などによる収入39億45百万円などがあり、4億87百万円の資金の獲得となりました。

財務活動におけるキャッシュ・フローは主に、配当金の支払額26億74百万円、自己株式の取得による支出24億54百万円等があり、60億31百万円の資金の支出となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円	第61期 第2四半期 (自2007年4月1日 至2007年9月30日)	第62期 第2四半期 (自2008年4月1日 至2008年9月30日)	第61期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	418	△2,174	△645
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,920	487	△7,993
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,375	△6,031	△728
現金及び現金同等物に係る換算差額	36	47	△221
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△10,090	△7,671	△9,589
現金及び現金同等物の期首残高	59,226	49,637	59,226
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	49,136	41,966	49,637

連結損益計算書

単位:百万円

	第61期 第2四半期 (自2007年4月1日 至2007年9月30日)	第62期 第2四半期 (自2008年4月1日 至2008年9月30日)	第61期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)
売上高	129,551	129,299	266,429
売上原価	89,852	89,708	183,577
売上総利益	39,698	39,590	82,852
販売費及び一般管理費	36,665	39,174	75,915
営業利益	3,032	415	6,936
営業外収益	3,229	4,059	6,221
営業外費用	1,444	3,050	7,096
経常利益	4,817	1,423	6,062
特別利益	11	5,206	186
特別損失	136	1,453	1,276
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,693	5,176	4,972
法人税、住民税及び事業税	2,200	1,217	5,222
法人税等調整額	426	2,273	△1,787
少数株主利益・損失(△)	31	△6	70
四半期(当期)純利益	2,035	1,692	1,467

店舗情報

	第61期 第2四半期 (2007年9月30日現在)	第62期 第2四半期 (2008年9月30日現在)	第61期 (2008年3月31日現在)
スーパーオートバックス:	73	76	74
Type I	6	6	6
Type II	67	70	68
オートバックス	401	397	399
オートハローズ	11	10	10
オートバックス走り屋天国セコハン市場	31	31	31
オートバックスエクスプレス	8	10	9
ライコランド	6	8	8
海外	114	122	117
合計	644	654	648

POINT 1

売上高

当第2四半期累計期間は卸売部門においてタイヤ・ホイール、自動車、燃料などの売上が増加したものの、カーエレクトロニクス、カースポーツ用品、車外用品などの売上減少を補えず、前年同期比0.3%減少となりました。小売部門では国内店舗におけるカー用品販売売上が不調ではありましたが、「車検・整備」を含むサービス売上や海外店舗における売上増加なども貢献し、前年同期比0.2%増加となり、連結売上高は前年同期比0.2%減少の1,292億99百万円となりました。

POINT 2

営業利益

当第2四半期累計期間は国内における管理費の削減に努めたものの、国内外における店舗数の増加や国内におけるタイヤ販売の広告宣伝費や昨年からの導入を開始したPOSシステム関連費用が増加したことにより、販売費及び一般管理費が前年同期比6.8%増加の391億74百万円となった結果、営業利益は前年同期比86.3%減少の4億15百万円となりました。

POINT 3

経常利益

当第2四半期累計期間は営業外費用として投資有価証券評価損を11億46百万円計上したことなどにより、前年同期比70.4%減少の14億23百万円となりました。

POINT 4

四半期(当期)純利益

当第2四半期累計期間はフランチャイジーに対する建物等のリース取引に関わる会計基準の変更による特別利益46億51百万円や固定資産の減損による特別損失13億円を計上し、前年同期比16.9%減少の16億92百万円となりました。

商号

株式会社オートバックスセブン
(AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)

創業

1947年2月

資本金

339億9千8百万円

主な事業内容

当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店で並行して国内外にチェーン展開しております。

主要な事業所

本社	(東京都江東区)
北日本エリア事業部	(宮城県仙台市)
関東エリア事業部	(千葉県市川市)
中部エリア事業部	(愛知県名古屋市)
関西エリア事業部	(大阪府吹田市)
南日本エリア事業部	(福岡県福岡市)

役員一覧

取締役

代表取締役

湧田 節夫

取締役

経森 康弘
井手 秀博
中田 康雄^{※1}
宮内 英樹^{※1}
森本 弘徳
武田 健一
田村 達也^{※1}
服部 範雄^{※1}

監査役

野上 明 常勤監査役
森野孝太郎^{※2} 常勤監査役
住野 泰士 常勤監査役
田邊 健介^{※2} 監査役
池永 朝昭^{※2} 監査役

執行役員

上席執行役員

湧田 節夫 社長執行役員
経森 康弘 副社長執行役員 戦略機能統括 兼 海外事業統括
井手 秀博 常務執行役員 経営管理統括 兼 経理担当 兼 関係会社管理担当 兼 財務戦略担当
森本 弘徳 常務執行役員 エリア戦略統括
武田 健一 常務執行役員 商品戦略統括

エリア戦略担当執行役員

伊藤 浩明 北日本エリア事業部長
松村 晃行 関東エリア事業部長
戸出 譲 中部エリア事業部長
小林喜夫巳 関西エリア事業部長
加藤 哲也 南日本エリア事業部長
藤原 伸一 エリア戦略企画担当

商品戦略担当執行役員

住野 耕三 商品戦略企画担当 兼 力一用品事業担当 兼 商品開発部長
角倉 正親 車検整備事業担当
榎 宏介 C@RS事業担当 兼 C@RS事業推進部長

海外事業担当執行役員

江本 吉弘 海外事業担当

内部統制担当執行役員

小平 智志 内部統制担当

経営企画担当執行役員

吉山 弘樹 経営企画担当 兼 経営企画室長

戦略機能担当・経営管理担当執行役員

上西園英司 人事戦略担当 兼 総務担当
平田 功 IT戦略担当 兼 IT戦略推進部長

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役

※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役

株式情報

2008年9月30日現在

発行する株式の総数	109,402,300株	
発行済株式の総数	39,255,175株	
株主数	11,978名	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当金	毎年3月31日
	中間配当金	毎年9月30日
	なお臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。	

単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所

株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
---------	--------------------------------

同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
---------	--------------------------------------

郵便物送付先
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

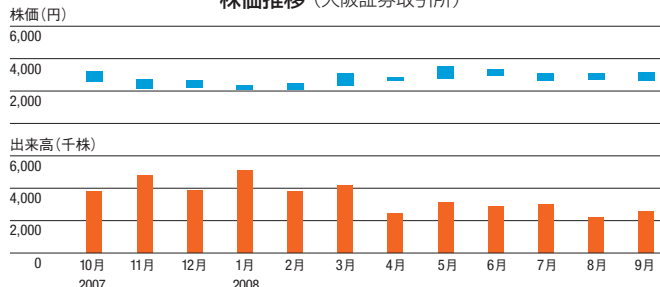
電話照会先
0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求)
0120-176-417 (その他のご照会)

名義書換取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
---------	-----------------------

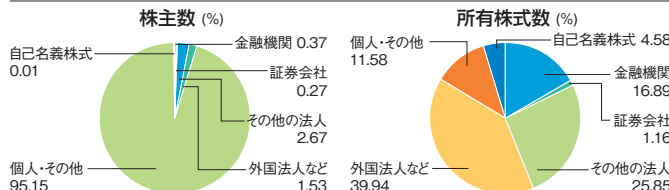
大株主一覧	有限会社スミノホールディングス いちごアセットトラスト ザ シルチェスター インターナショナル インベスターズ インターナショナル パリュウ エクイティー トラスト 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 ノーザン トラスト カンパニー(エイブイエフシー)サブ アカウント アメリカン クライアント 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G) タム ツー ノーザントラストカンパニーエイブイエフシー リユーエスタックスエグゼンプトベンションファンズ
-------	---

注) 1. 当社は自己株式1,799千株(所有割合4.58%)を保有していますが、当該自己株式は議決権の行使が制限されているため、上記の大株主から除いています(2008年9月30日現在)。
2. 上記以外の名義書換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。

株価推移 (大阪証券取引所)



所有者別状況 (2008年9月30日現在)



住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願いいたします。株主招集ご通知や配当金などをお届けできなくなります。

ご変更は、住友信託銀行(株)の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

株主優待制度について

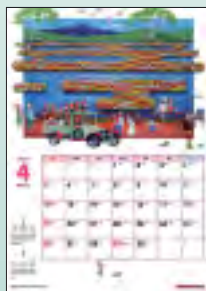
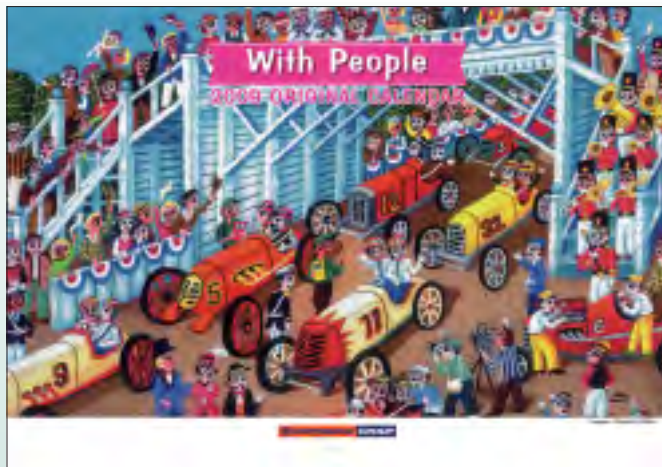
『オートボックス』、『スーパーオートボックス』などで、1,000円(消費税込み)のお買い上げ毎に1枚ご利用いただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている、単元株式数以上を所有する株主の皆さまにお送りしています。

【ご参考】

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株～999株 優待券25枚
1,000株～ 優待券50枚
- 優待券は商品券・他の値引(買物券、クーポン券、値引券等)を併用の場合、値引き後の金額に対してご利用いただけます。
- 優待券は日本国内のオートボックス、スーパーオートボックス、オートボックス走り屋天国セコハン市場、オートボックスエクスプレス、オートハローズおよびテクノキューブの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートボックスC@RS、海外店舗ではご利用いただけません。
- 優待券は燃料、車両、廃タイヤ処分料、保険、税金、飲食、タバコなどにはご利用いただけません。

※ 車検につきましては、重量税、印紙代、自賠責保険料、リサイクル料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけます(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります)。

株主の皆様への感謝を込めて 2009年のカレンダーをプレゼント!



ご応募いただいた方の中から抽選で100名様に、
2009年版オートバックスオリジナルカレンダーを
プレゼントします。

応募要項

官製はがきに下記①～⑤を明記の上、宛先住所までご送付ください。
なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
(ご応募いただいた方の個人情報を本プレゼント企画の連絡以外の
目的で使用することはありません。)

①氏名 ②郵便番号/住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤当社IR活動へのご
意見、ご感想など

宛 先

〒135-8717
東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント
オートバックスセブン 広報・IRグループ
「株主通信 カレンダープレゼント」係

応募締め切り

2008年12月20日(当日消印有効)

AUTOBACS SEVEN CO., LTD.

株式会社オートバックスセブン

東京都江東区豊洲5-6-52 NBF豊洲キャナルフロント 〒135-8717



この株主通信は、適切に管理された森林を使用したFSC認証紙に、大豆油インキで印刷しています。

お問い合わせ先

- IR情報に関するお問い合わせ先
経営企画室 広報・IR・インフォグループ
電話: 03-6219-8718 e-mail: investors@autobacs.com
- 住所変更等、株式事務に関するお問い合わせ先
住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求)
0120-176-417 (その他のご照会)
※詳細は14ページをご確認ください。